

薬剤部だより No.195

山口大学病院薬剤部 2006.4.14



米国産ウシ由来物を原材料として製造される医薬品には患者さんへの情報提供説明文書を添付します

米国産のウシ由来物を原材料として製造される医薬品について、厚生労働省から患者さんに伝達性海綿状脳症(TSE)等のリスクを文書で情報提供するようにとの通知がありました。これを受け、薬剤部では該当医薬品調剤時に、情報提供説明文書を順次添付する予定です。説明時にお役立てください。厚生労働省から指定された医薬品は下記のとおりです。

- ・オーガンマ
- ・オーアイエフ
- ・乾燥ガスえそ抗毒素“化血研”
- ・乾燥ボツリヌス抗毒素“化血研”
- ・乾燥弱毒性おたふくかぜワクチン「化血研」
- ・クロスエイトM250、500、1000
- ・レミケード点滴静注用100
- ・オルソクロンOKT3注
- ・ニューモボックス
- ・リコネイト250、500、1000
- ・ボトックス注100
- ・フォートベイスカプセル
- ・ハーセプチン注射用60、150
- ・マイロターグ注射用5mg
- ・エンブレル皮下注用25mg

原材料が変更または改善された際には、薬剤部だより、又はDI月報にてお知らせします。アンダーラインは当院常備薬、波線は緊急購入薬です。

処方箋作成の手引きをお渡しします

本年4月から新たに当院で診療に当たられている医師(院生、研修医を含む)で、「処方箋作成の手引き(2006年1月発行)」をお持ちでない方は薬剤部 石本(副部長室2672)までご連絡ください。

薬物血中濃度測定検体の提出を早めをお願いします

入院患者の薬物血中濃度測定の検体は、10時と14時に研究室へ送られてきます。この2便に間に合わない場合は測定が遅れることもあります。検査・解析結果を早急にお知らせしたいと思っておりますので、採血後の検体の提出は早めをお願いします。

ヒューマペンエルゴ販売中止に伴いヒューマペンラグジュラへ切り替え

「ヒューマペンエルゴ」は本年12月をもって販売中止となりますので、「ヒューマカート」が引き続き使える「ヒューマペンラグジュラ」へ切り替えます。ただし、新たに使用される患者さん、又は耐用年数(2年間)を経た患者さんに限定したオーダーとなります。切り替え日を4月18日(火)に予定しています。

エンブレル皮下注用の取り扱いについて

「エンブレル皮下注用」は平成18年4月1日から院外処方が可能となりましたが、「皮下注射用セット」については、引き続き取り扱いができませんので従って、「エンブレル皮下注用」ともこれまで通り院内処方とします。今後、変更点等ありましたら薬剤部だより、DI月報にてお知らせします。

三種混合ワクチン供給元変更のお知らせ

保存剤に改良を加えた三種混合ワクチン(DPT):「沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン(ビケン)」は、安定供給ができない状態との連絡がありましたので、安定供給可能な第一製薬(北里研究所)に供給元を変更します。

エポジンシリンジ注射針添付終了のお知らせ

「エポジン注シリンジ」については注射針(エポジン1500、3000単位には21G針、6000、12000単位には25G針)を添付して病棟に送っていましたが、メーカーから「これを終了する」との連絡を受けましたので、今後は添付できません。病棟在庫の注射針を使用してください。

名称変更のお知らせ

- ・モーラス30
(旧)モーラス (新)モーラス30
- ・コンクライト液 - PK
(旧)コンクライト - P (新)コンクライト液 - PK
- ・ドブトレックス注200mgバッグ、600mgバッグ
(旧)ドブトレックスK注 (新)ドブトレックス注バッグ

モーラス30につきましては名称変更済み、コンクライト液 - PK、ドブトレックス注バッグに関しては在庫なくなり次第変更します。